

取扱説明書

伸縮警棒 護身用

注文コード：14552040

このたびは、伸縮警棒 護身用をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

本製品について

- ◆本製品は、ホワイトウルフ スチール警棒の製造元「株式会社エスボディガード」と「株式会社MonotaRO」による共同開発の製品です。
- ◆本製品は、18歳未満の方の使用は禁じられています。都道府県に条例がありますのでご注意ください。条例につきましては各都道府県、関係機関にお問い合わせください。

免責事項について

- ◆本製品のご購入後に生じた事故、損害については、一切の補償や責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- ◆使用した結果による損害やケガなどに対して、一切の補償や責任を負いかねます。分解を含め、所持やご使用について、全てご自身の責任でお願いいたします。
- ◆本製品は丈夫な素材を使用しておりますが、強度には限界があります。硬い石を叩くなど、過度な力をかけると変形したり、折れてしまう可能性があります。使用後の変形、折れなどの破損に対しては返品、交換などはできませんので予めご了承ください。
- ◆本製品はスチール製のため警棒の内部に、購入時、保管時に問わず、「錆(さび)」が出る、出ている場合があります。錆の発生は避けられないものです。本製品の機能、品質として問題がないため、不良品ではございません。購入時、使用時に錆があっても交換や返品の対象にはなりませんので予めご了承ください。

【製品図】



1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

警告 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

注意 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

ご使用上の注意

【はじめに】誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

警告

- 本製品は護身用の目的が用途です。攻撃目的など本製品を本来の用途以外で使用しないでください。
- 本製品の特性上、悪質な使用された場合は、重大な犯罪になります。本製品を本来の用途以外で使用しないでください。
- 万一の場合を除き、人や動物など生き物に危害を加えるような行為はしないでください。弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品の所持、使用は法律で厳しく規制されています。関係法規を遵守してください。違法な所持、使用は罰せられる可能性があります。
- 本製品の使用によって他人にケガ、死亡させた場合は、法的責任を問われる可能性があります。
- 本製品を正しく使用するために、専門的な訓練を受けることをお勧めします。
- 本製品は玩具ではありません。他人やお子様の手の届かないところに保管し、使用させないでください。

注意

- ロック時に若干斜めにロックされることがありますが、不良品ではありません。
- 本製品を保管する時は、不安定な場所に置かないでください。落下して故障や破損の原因になります。
- 本製品は定期的に清掃してください。布や柔らかいブラシを使って、表面の汚れやほこりを取り除き、水を使う場合は、完全に乾燥させてください。
- 可動部分に潤滑油を塗ることで、スムーズな操作を維持することができます。適切な潤滑油を使用し、余分な油は拭き取ってください。
- 定期的に本製品の状態を点検し、亀裂や損傷がないか確認してください。損傷が見つかった場合は、使用しないでください。
- 本製品はスチール製のため、錆びやすいため、湿気の多い場所に保管しないようにしてください。
- 本製品は、直射日光や高温多湿を避け、乾燥した涼しい場所に保管してください。

2 使用方法

警棒の振り出し



手首のスナップを利かせて、遠心力を使う



① 手首にストラップを通します
(奪われ、すっぽ抜け防止のため)。
周りの安全を確認し、グリップを
しっかりと握ります。

② スナップを利かせて警棒を
地面方向へ振り出します。

③ 警棒の先端を遠心力で外に出す
ようなイメージで振り出します。

知識

- ➔ 警棒を振り出す時、警棒を押し出す感じではなく、**手首のスナップを利かせ、警棒の先端を「遠心力で外に出すイメージ」で振り出します。**警棒のシャフトが勢いよく外に出ることで、シャフト同士が摩擦でロックされます。
- ➔ 小さく軽い警棒ほど、振り出しロックにはコツが必要です。
慣れれば写真のように腕を上げる必要はなく、手首のスナップだけでもしっかりとロックできるようになります。

警棒の収納



コンクリートなどの硬い地面に新聞や雑誌を敷いて、まっすぐに叩き付ける

★製品の不具合により警棒が収納できない(戻らない)というケースはほとんどありません。
収納の際には、地面の硬さや使用方法が重要です。下記の手順をよくお読みください。



1. 警棒の先端に傷が入らないようにするために、「**コンクリートやアスファルト**」など**非常に硬い地面**の上に、1日分の新聞を折り畳んだものや雑誌などを置きます。
(置くものが多い場合は、弾力が出てしまうので、警棒が収納しづらくなります。)
2. 周りの安全を確認して、警棒のグリップをしっかりと握ります。
警棒の先端を地面よりも少し高い位置(10cm~30cm)にしてから、まっすぐ振り下ろすようにします。

※警棒を収納する場合、「コンクリートやアスファルト」など非常に硬い地面である必要があります。

室内のフローリングや絨毯、砂や雪などでは、警棒は上手く収納が出来ません。

また警棒を叩きつけた場所を傷つけたりするおそれがあるので、必ず「コンクリートやアスファルト」などで行ってください。

※「体の正面」でしっかりと腰を据えて警棒を構え、空中から地面にまっすぐに叩き付けるようにすると勢いが出て収納しやすくなります。

※完全にロックされている警棒の先端を、地面に着けて押し込んででも収納できません。

知識

- ➔ ロックは、シャフト同士の「摩擦によって」行われます。細かい揺れ動きを長く繰り返すと、ロックが外れる場合がありますが、これは異常ではありません。また、若干斜めにロックされることもあります。個体差があるため、多少斜めにロックされても問題はありません。
何度も振り出しと収納を繰り返すと、摩擦力が徐々に減少する特徴があります。年月が経過すると、どうしても振り出しと収納の回数が増えるため、この現象が生じます
- ➔ 警棒は振る、叩くだけでなく、長い棒のように「突く」ことも想定されています。そのため、振り出した際のロックがきついほど、良品です。しかし、初心者の方は「ロックできない」や「収納できない」と誤解することがあります。
正しい方法で振り出してロックさせ、硬い地面に叩き付けて確実に収納する練習も必要です。
- ➔ 何度かトライして警棒が「収納される感覚」を習得してください。一度成功すると、収納される感覚が分かります。